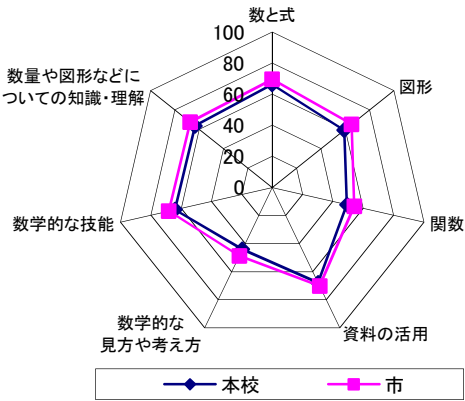


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	66.3	69.6
	図形	59.1	65.2
	関数	49.3	54.1
	資料の活用	67.9	70.3
観点別	数学的な見方や考え方	44.1	48.7
	数学的な技能	64.0	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	63.5	67.5



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	本校の正答率は、市平均を下回っている。式の計算(展開や因数分解)や2次方程式を解くことはできるが、平方根の意味の理解や計算が苦手である。公式を使って解く問題は定着している。	平方根は、3学年で学習する内容で、新しい数に抵抗を感じている生徒が多いようである。反復練習を通して、苦手意識を取り除くようにしていきたい。
図形	本校の正答率は、市平均を下回っている。二等辺三角形や平行四辺形の性質を使って、角の大きさを求めることはできているが、証明を記述することが苦手である。	図形の証明は無解答(無記入)が多かった。図を使って定理をよく確認し、途中まででもわかっていることを記入するように指導していきたい。
関数	本校の正答率は、市平均を下回っている。2乗に比例する関数のグラフの読み取りや変域など基礎的なことは理解している。関数を使って応用の問題を解くことは苦手である。	グラフの読み取りや式をつくることはできるが、そのことが何を表しているかを表現することができなかった。言葉で説明する機会を増やすことで、式やグラフ、表の意味を理解させたい。
資料の活用	本校の正答率は、市平均を下回っているが、4領域の中で正答率は一番良かった。確率の問題は、身近であり取り組みやすかったと思われる。	確率の問題は、生徒には取り組みやすい内容である。反復練習を通して、どんな問題にでも対応できる力を身につけさせたい。